

幸せが連鎖し、循環し、 増大するまちづくり

～一人ひとりが輝き、幸せを実感できる、
一歩前に進んだ日常へ～

令和4年度 施政方針 東坂浩一市長メッセージ

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残る1年となりました。その一方で、ワクチン接種の進展や感染症対策を生活に取り入れた日常の定着など、新たな社会に向けた変化を実感する1年でもあり、そこには大きな学びもあったと感じています。

それは「不確実な未来に対応する柔軟性を高める」ことです。新型コロナウイルスのような、思いがけない出来事が起きても、柔軟に対応できる能力を高めるためには、可動域や選択肢を増やすことが重要です。まずは、想定外をできるだけ想定内にできるよう、未来への先見力を高め、その上で、いち早く変化の兆しをとらえ、変化を受け入れ、変化の先を見据えながら、

柔軟性や多様性を活用して、必要な方向に舵^{かじ}を切っていく。そうすることで、「一人ひとりの幸せの実現」という大きな目標に向けて、歩みを止めることなく発展し続けていきたいと考えています。

昨年、総合計画と総合戦略を一体化させ策定した「**幸せデザイン 大東**」は、できる限り未来を予測し、想定外が想定内となるよう勘案した計画となっています。2年目の年となる令和4年度は、コロナ禍での2年間の経験を生かしながら、変化に応じて柔軟に成長の軌道を修正していくことが必要です。新たな日常、新たな社会に生み出される、新たなニーズを的確にとらえ、その一つひとつに真摯^{しんし}に向き合いながら、浮足立つことなく、着実に確実な歩みを一歩一歩進め、大東の幸せを増大させてまいります。



1

危機管理の徹底

過去の経験と想像力を駆使して、既存のリスクだけでなく、想定外を含めたあらゆるリスクを検討し、どんな災害にも動じない盤石な危機管理体制を構築します。

事前防災の対策推進

災害時に実効性のある適切な対処をするため、「大東市地域防災計画」の改訂を行います。

避難生活の安心の充実

災害時に避難所となる中学校へ、エアコンを順次導入するとともに、防災備蓄倉庫を建設し、備蓄物資の充実と品目の拡充を図ります。

防災体制の強化

「機能別消防団（市役所分団）」の活動や、地域と一体となった防災訓練の実施により、防災力を高めます。



2

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

コロナ禍による意識や価値観の変化を見極めながら、大東ならではの魅力を創り出し、発信します。

歴史的資源の活用

昨年、国史跡に指定された「飯盛城跡」のフルCG化やVR・ARによる映像化などを行い、今年生誕500年を迎える「三好長慶」と併せて、その魅力を市内外に発信します。



野崎・四条畷駅周辺整備

引き続き、野崎駅の駅舎橋上化を進めるとともに、駅前広場の整備や四条畷駅のペDESTリアンデッキの整備に着手します。



住道駅前^{にぎ}の賑わい創出

駅前を「魅力ある都市空間」へと生まれ変わらせる、民間事業者の皆さんによるさまざまな取り組みを後押しする環境の整備に向け、「住道駅前デッキ基本計画」を策定します。



都市公園の魅力創出

多様な主体が、多様な公園の活用にチャレンジすることで新たな魅力を生み出せるよう、末広公園で、賑わい創出に向けた活用の実証実験を行います。

- CG** コンピューターを使い、画像や動画を作成する技術
- VR** 仮想現実。コンピューターで作られた映像と専用機器を使い、実際にその空間にいるような環境を作り出す技術
- AR** 拡張現実。コンピューターで画像や映像をCG合成し、現実の世界に情報を重ね合わせて表示する技術
- ペDESTリアンデッキ** 建物と建物を結ぶ、高架で設置した歩行者専用通路

3 健康寿命の延伸

「SDGs」の理念を柱に、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが健康に個性や能力を生かしながら、自分らしく暮らせる多様性が尊重された共生社会の構築をめざします。

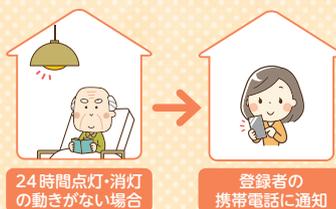
社会参画の推進

66歳を迎えた人に、地域活動や地域就労などに関する案内を行う「66歳地域デビュー応援事業」を実施し、社会参画の機会や生きがいづくりを創出することで、健康増進をめざします。

全世代の健康づくりの推進

医療機関と連携し、特定健診などの受診率の向上に取り組むとともに、子宮頸がんワクチンの接種勧奨が中止されていた時期に対象となっていた女性で、希望する人への接種を進めます。(25ページに関連記事あり)

高齢者を支える環境づくりの推進



24時間点灯・消灯の動きがない場合

登録者の携帯電話に通知

高齢者の自宅に設置した電気のオン・オフの動きにより異常を検知し、登録者にお知らせする「ハローライト事業」を実施するとともに、地域包括支援センターに相談用のテレビ電話を段階的に設置します。

SDGs(エス・ディー・ジーズ)

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざす」ための17の国際目標

4 確かな学力の向上と教育環境の充実

一人ひとりの意欲や選択に応じた「個別最適化された学び」の実現と、子どもたちが共に学び合う「協同的な学び」を推進します。また、学びの場にも民間活力の活用など、新たな風や可能性を吹き込み、時代に先駆けた新しい教育を推進します。

デジタルを活用した学びの推進

これまでの基礎的な活用からさらに発展させた授業改善を行っていくために、AI機能などを活用したデジタルドリルや学習教材などの充実を図ります。

AI 人工知能。コンピューターを使って、人間の知能を再現する技術のことなど

プログラミング学習教材

- 1 算数、理科、総合など学習内容に応じて課題を設定
- 2 課題解決に向けたロボットの組み立て
- 3 タブレットPCでプログラムを作成
- 4 プログラムをロボットに送信し、モーターやセンサーを使ってロボットを動かす



(プログラミング的思考の育成)

デジタルドリル

児童・生徒用タブレット



問題を
解答

解答に応じて
次の問題が自動
選択される

個々のペースで実施
(個別最適化)

教員用タブレット



学びを
つなげて
いく

児童・生徒用の進捗状況が画面に表示され個々に
応じた指導ができる

新しい教育の推進

既存の公教育に加え、「公民連携教育」として民間のアイデアを取り入れた、新たな学びの場「公民連携スクール」の令和5年4月の開設をめざします。

安全・安心の教育の推進

教育支援センター「ボイス」において、経験豊富な民間人材を活用し、さらなる児童・生徒、保護者への支援を進めます。また、「小中学校長寿命化計画」に基づく、安全・安心な学習環境の整備に努めます。

5

出産や子育ての安心と魅力の創出

量的な子育て支援対策から、一人ひとりのニーズやライフスタイルに応じたサービスやサポートなどの質的対策へと観点を広げ、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」の推進を図ります。

切れ目のない支援の推進

「入学スタートギフト事業」として、ネウボランドだいとうのオリジナルギフトセット(大阪産業大学と共同製作)を就学前年のお子さんに配布し、就学前後の切れ目のない相談の継続と一人ひとりに寄り添ったサポートを行います。

地域全体での子育て支援の推進

家庭教育支援の一環として、家庭教育応援企業で「いくカフェ」を開催し、いつでもどこでも気軽に集える子育て支援の拠点を市内全域に広がっていきます。



6

チャレンジする人と産業の後押し

DXの推進を契機に企業の新たな挑戦を後押しし、さまざまな人や産業、アイデアを地域に呼び込みます。また、市内外の企業や大学との連携を支援することで、産業の裾野の拡大と重層化を推進します。

デジタル化・DXの推進

D-Biz(大東ビジネス創造センター)では、SNSを用いてビジネスに関する情報発信を行うとともに相談事業の強化を行います。また、「市内企業DX事業」ではICTの相談窓口の設置・導入の助言など伴走型支援を行い、DXによる企業競争力の底上げを図ります。

- DX** デジタル技術を活用し、人々の生活をより良い方向に変化させること
- SNS** インターネット上で、登録利用者同士で交流できるサービス
- ICT** 通信技術を使って、人とインターネットや人と人がつながる技術



DXプログラミング教室

行政サービス改革

「主役は人である」という視点に立ち、豊かな暮らしの構築を目的とする「デジタル化」を推進し、より効率的で効果的な行政サービスを提供します。

行政サービスの充実

電子申請システムを利用した行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を進めます。また、デジタル化やDXにより生み出されたマンパワーを対面サービスへと移行し、デジタルデバインドへの対応にも取り組みます。

財政運営の基盤強化

財産活用を担う資産経営課を新設し、行政サービスの向上も見据えながら、公共施設などの適正な配置や効果的で効率的な運用の方向性などを検討します。



デジタルデバインド 情報格差。インターネットなどの情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差のこと